令和５年度　社会科　授業改善推進プラン

台東区立駒形中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	・歴史的事象や地理的分野に関する語句やその意味を正しく理解し、正しく書くこと。 ・社会科の学習に対する興味や関心を維持し、基礎的な学力を身に付けること。 ・問いに対して必要な語句を使って自分の言葉で文章をまとめること。	・語句の漢字や意味を正しく理解する力、図表から情報を正しく読み取ることのできる力。 ・自分の考えを文章で簡潔にまとめる力。 ・主体的に現代の社会事象に興味、関心を持とうする意欲の醸成。	・一問一答形式での用語確認や小テストなどで、基礎的な知識の定着を図る。 ・授業中、考え表現する機会を設けたり、調べ学習や自分の考えをまとめるレポートを課題として設定したりすることで、思考力・判断力・表現力の育成を図る。 ・調べ学習やレポートのテーマを自分で設定させることで、主体的に学習に取り組む態度の向上を図る。
第2学年	・歴史的事象や地理的分野に関する語句やその意味を正しく理解すること。 ・特に歴史的分野の学習に対する興味や関心を高め、基礎的な学力を身に付けること。 ・問いに対して必要な語句を使って自分の言葉で文章をまとめること。	・語句の漢字や意味を正しく理解する力、図表から情報を正しく読み取ることのできる力。 ・自分の考えを文章で簡潔にまとめる力。 ・主体的に現代社会に関わろうとする意欲の醸成。	・一問一答形式での用語確認や小テストなどで、基礎的な知識の定着を図る。 ・授業中、考え表現する機会を設けたり、調べ学習や自分の考えをまとめるレポートを課題として設定したりすることで、思考力・判断力・表現力の育成を図る。 ・調べ学習やレポートのテーマを自分で設定させることで、主体的に学習に取り組む態度の向上を図る。
第3学年	・歴史的分野では、世界大戦へと進んだ日本の状況等、現代世界における複雑な国際情勢についての理解。 ・地理的分野では、身近な地域に関する資料から情報を集め、地域の特色や変化の様子を読み取ること。 ・公民的分野では、関連する語句やその意味を正しく理解すること。基本的な社会のしくみを理解すること。	・これからの変化の激しい社会を生き抜いていくために、用語や社会のルールなどの知識や技能を養い、未来のどんな状況にも対応するために、仲間と共に助け合い、尊重し合う力の育成を目指す。 ・グループ学習で学び合う力を認め合い、ワークシートで学力を定着させていく。その上で、学んだことを人生や社会に生かそうとする姿勢や人間性を育成する。	・生徒の特長を十分に理解し、生徒の理解の程度に応じた教材の準備、授業展開を行い、学習の充実を図る。つまずいている生徒に対して、放課後や休み時間を利用して短時間で学習させ少しずつ学力を定着させていく。 ・話合いの根拠となる資料を用意し、様々な角度から場面を設定する。つまずいている生徒には、資料を読み取る際の視点や考え方を理解しやすいように説明し、意見を出せるように助言する。他の人の意見に触れ、自分の意見と照らし合わせることの大切さに気付かせながら学習を進めていく。